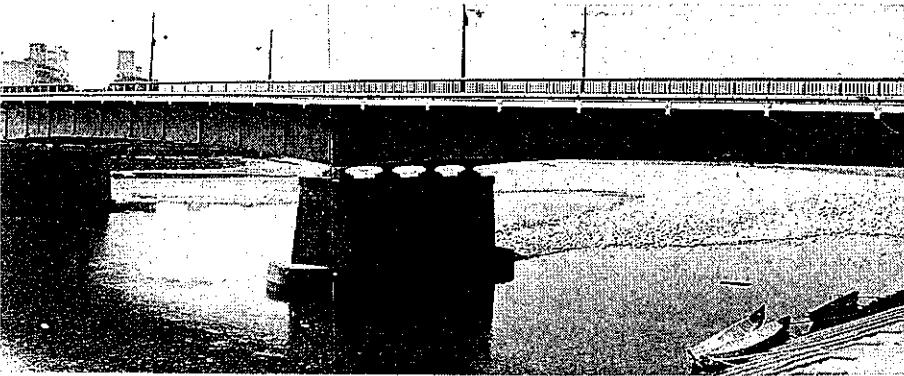


# 全国の皆様へ緊急支援要請

- いま、地域の実情と遊離した地域外からの反対運動が事業の推進に重大な支障となっています。
- これは、長良川だけの問題ではなく、各地域の公共事業に及ぶ問題であります。
- 明日は我が身であり反対運動の粉碎のためご支援下さい。

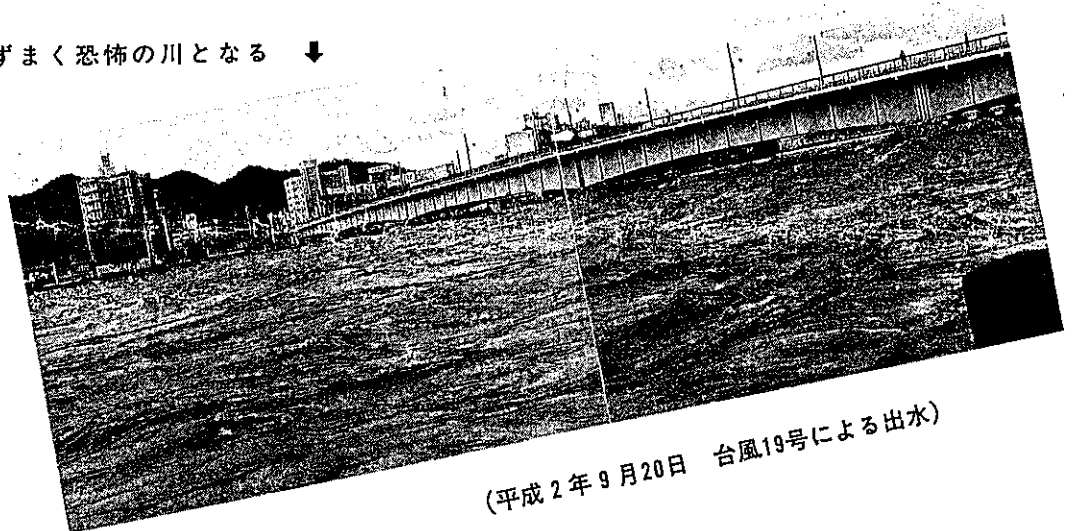
## 長良川河口堰の建設促進について訴える



河口堰 反対派に抗議する大集会(平成2年11月23日)

清流長良川もひとたび洪水となれば ↑

濁流うずまく恐怖の川となる ↓



(平成2年9月20日 台風19号による出水)

### 構成団体

- 県政自民クラブ
- 岐阜県市長会
- 岐阜県市議会議長会
- 岐阜県町村長会
- 岐阜県町村議会議長会
- 岐阜県商工会議所連合会
- 岐阜県商工会連合会
- 岐阜県中小企業団体中央会
- 岐阜県農業協同組合中央会
- 岐阜県土地改良事業団体連合会
- 岐阜県水防協会

## 緊急治水対策協議会

総合的な治水対策と長良川河口堰建設を促進する岐阜県民運動本部

〒500 岐阜市藪田1-101  
岐阜県水産会館内 511号室  
TEL.(0582)72-3931

# 長良川河口堰の建設促進について

## (1) 長良川河口堰は長良川で15番目の堰

長良川の本川には既に大小14の堰があります。長良川河口堰は、上流より15番目の堰として計画され、永年にわたり調査検討を行ったうえ、県民の生命財産・高須輪中の農地・長良川の自然環境の3つを守る立場にたって、所要の対策を講じるよう事業者である建設省・水資源開発公団に強く要請し、その実現を図りつつ、建設が進められてまいりました。

## (2) 環境への配慮も万全

長良川の豊かな自然を守る立場からは、アユ等魚類への影響を最小限に止めるための画期的な最新式魚道の設置、アユ仔魚の降下対策としての人工産卵床の設置、魚類・鳥類等への対策としての水際のヨシ原の復元、高水敷上での植生の復元、堰管理における水質・魚類等環境への配慮など必要な対策が講じられることとなっております。

## (3) 工事の一時中止など論外、流域住民の意見こそ最優先に

長良川河口堰問題は、自然環境の問題である前に治水の問題であります。治水の問題に当事者適格を有する者は、長良川とともに暮らし、洪水時に自らの生命・財産を危険にさらしている岐阜市から下流の13市町60万住民であります。この地域住民の安全を守る責任を有し、かつ住民の意志を代表する立場にある自治体は、こぞって長良川河口堰の早期完成を熱望しております。そして一日も早く河道の浚渫を完了しなければ、いつ災害が発生してもおかしくない長良川の現況です。工事の中止などは論外であります。

当事者である地域住民の生命・財産が、直接の当事者でもなく、かつ、責任も負わない人々の意向に左右されることがあってはなりません。自分の生命は自分で守ることができなければなりません。これが憲法の保障する地方自治の本旨でもあります。地方自治を無視し、法律に根拠もない局外者の意向によって事を決するようなことがあるとすれば、法治国家として断じて許されないことでもあります。

## (4) 河口堰問題は総ての公共事業に共通の問題

このような状況を放置すれば他の公共事業も地域の実情と遊離した地域外からの運動によって重大な支障を生ずる恐れがあります。

今日の長良川の状況は、今後の各地域の重要事業の問題であります。長良川沿岸の住民がこれ以上苦しむことがないように、ご支援を切にお願い致します。

# 長良川河口堰推進派を

## “ばか”呼ばわりする

### 川那部京大教授の差別的な暴言！

ことの起こりは月刊雑誌ビーバル（小学館発行）九月号で同誌記者と川那部京大教授と対談した内容である。その一つは……以下原文のまま

BP たとえばサツキマスやアユを守れということに対して建設省や水資源開発公団の人はそれが感傷的で底の浅いヒューマニズムにすぎないと判断しているふしがあります。それよりも人間の財産や命を守る治水のほうがはるかに重要なのだという強い主張があります。これをどう考えればいいでしょうか？

あ然、ぼう然、あいた口がふさがらないとはこの事だ。しかも、この京大の先生、日本自然保護協会の河川問題調査特別委員長と長良川河口堰問題専門委員長であり且つ日本生態学会長という大層な肩書の持主である。

う思っている人があったとすればそれは人間というものをまともにも考えたことのない人、真の意味で馬鹿やということに過ぎんでしよう。

臣と川本水資源開発公団総裁に提出している。

どんなりっぱなことを書いたにしろ、「自然より人間の生命、財産の方が大切」と言う人達に対して「人間というものをまともにも考えたことのない馬鹿や」と述べている人のまともな意見書を誰が信用するのか。

いまでもなく長良川河口堰事業は地域住民の生命と財産を守る重要な事業であり、自然環境の保全には十分配慮して地域の人々の理解を得ながら推進する。これが当然の成り行きだろう。この京大の先生の方がばか野郎であり、建設反対派のいうことはもう信用できない。

## 俺たちや都会で、やり放題 君たちや田舎で耐えて死ね！

もう一つは次の記事である。……以下原文のまま

BP では河口堰なしで、どういう選択が可能でしょうか？

川那部 僕は低地帯に住んでいないので、このことをあまり言いたくないのやけど、今の川の状態を考えると、洪水の起きやすい地域では、昔の人の知恵に学んで高床式の住宅に住むのが最も賢い選択やと思う。

そのかわり5年に1回か10年に1回は、床下浸水ぐらいは覚悟する。そのほうが数十年という長きで考えたら絶対に安全やし得やと思う。

俄自身がそういうに住んでるんやったら、と大き

ま、今のままにさせておいたら、日本の川は遠からず全部、ほんまにムチャクチャになってしまいますね。

それほどいわれるなら、「いつそ美しい自然の多いこちらへ来てどうぞ住んで下さい」と呼びかけたい。これはまさに都会人のおごりであり、地方を差別する発言にほかならない。

そしてこのことは、ひとり長良川河口堰だけの問題にとどまらないから怖い。すなわち地方は都会に比べて「空気がきれい、公害がない、景色も素晴らしい、水がおいしい、山並みの緑の美しさ、牧草のグリーンのうつくしさ」など自然が優れている。こうしたなか最近全国各地で「考え自ら行う「村おこし」「まちづくり」が地域活性化の名のもと懸

## 反対の正体見えた “差別、なり

命に行われている。その手法も観光やリゾート開発であつたりする。すると、そこには必ず自然との調和が求められる。ここで川那部先生のよう

に都会に住んでいて、地域を實際に見たことのない人達が自然保護運動の美名にかくれて勝手にものをいい行動すると、結果は事業の進行が歪められ遅れることになる。

それでは過疎に悩む地域の人たちの生活はどうなるのか！

今こそ、このような人達の言葉にまどわされることなく自然環境保全に配慮しつつ真に地域を知っている人々の理解を得ながら勇気をもって事業をおし進めるべきだ。

長良川河口堰問題は、どこにでも起こり得る地方共通の問題であることとを認識すべきだ。

# 災害を笑う男 これがナチュラリストの正体だ!!

## 野田知佑(カヌーイスト) 暴言を吐く

「週刊朝日」平成二年十一月九日号

「地球と遊ぶー洪水ば面白かったばい」

昨今の田舎では、まず、十人の消防団を集めるのが大変だ。それに重い川舟を担いで土手を登ったりするほど「力作業」には慣れていない。呆然と手を拱いて突っ立っていたというのが実情だ。洪水とか、濁流渦巻く急流に対処できるほどの「親水性」もない。田舎の消防団員の中身は「シテイボーイ」と同じなのである。

カヌーによる救出場面の写真を見ると、救出された人はユーウツな顔をしているが、後ろでパドルを握って漕いでいる奴はニコニコしている。そいつがいった。「不謹慎だといわれるので余り大きな声じゃあいえんが、そりゃあ面白かったばい。カヌーば漕いで家の屋根の上ば越えたり、二階の窓から出入りするるとじゃけんね」

それはそうだろうなあ。災害にも必ず笑える部分があるものだ。

### 洪水冠水をニタニタ笑う男

ぼくも以前、洪水冠水した道路でカヌーを漕いで、ニタニタ笑いたいのを我慢するのに苦労したことがある。

子供の頃、よくぼくの村は水びたしになったが、一番低い土地に住んでいる奴の「五右衛門風呂」には毎度、水が引いたあと大きなコイが入っていて、ぼくは心から彼が「羨まし」かったものだ。

### 地方の住人をサル呼ばわり

「フライの雑誌」平成元年八月号

「誰が長良川を殺そうとしているのか」

天野礼子(エッセイスト・長良川河口堰に

反対する会 事務局長)との対談

人がワツと行くようになると、必ずニワトリ小屋みたいなバンガローを建てる。必ずカフェバーみたいな驚いたね。貧しいんだな、ほんとにニワトリ小屋みたいなバンガロー建ててさ、二畳か三畳の、それをペンキで塗ってね、その貧しきね、またそれを許しているまわりの人たち、なんかもう凄くいやになるわけ。このサルめノと思つて。あのへんにはサルがいつぱいいるけど、あまりそれとかわらないんだな。

川原にコンクリートのキャンプ場作つて、ここで寝てください、ここで炊事してくださいっていうの。広くてきれいな河原だったのに、そこへ貧しい貧しい施設を作つてね、そこへ誤字だらけの立札を立てて。そういうのつてやりきれないんだな、すべてが。

最近アウトドア・ブームで田舎の人たちが褒められてるでしょ、都会の人が必ずいうんだな、いなかはいいですねえ、うらやましいですよ、都会はダメですよつてね。そうすると彼らはそれを真に受けてね、最近威張りだしてきてる。態度が悪くなつてきている。

### 密漁し魚が大切とはなにごとか

北海道でもね、アリスファームの藤門弘と僕の二人でサケの密漁をワザとやって、ワザと捕まつて写真パチパチ撮られて、それから物議をかもし出そうと去年からやつてるんですよ、で、いつも密漁に行くんだけど、そういうときに限って監視員が来ないんだな。日本の川はアユとサケがダメにしている。藤門弘がいうには、サケの放流なんかやるから川がメチャクチャになるといふんだ。僕は別の意見から密漁をするんだけど、まず彼と僕が捕まつてから……、と考えてるわけです。